

報告書抄録

ふりがな	あのうかいごめ こふんぐん							
書名	穴太飼込古墳群							
副書名								
巻次								
シリーズ名	主要地方道伊香立浜大津線道路改築事業に伴う発掘調査報告書							
シリーズ番号								
編著者名	辻川 哲朗							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月日	平成18年(2006年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コ ー ド		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市 町 村	遺跡番号	北 緯	東 経			
あのうかいごめ こふんぐん 穴太飼込 古墳群	おおつし 大津市 あのう3ちょうめ 穴太3丁目	201	120	35° 03′ 20″	135° 51′ 49″	210m ²	2004.11.10 ～ 2005.01.31	主要地方 道伊香立 浜大津線 道路改築 事業
所収遺跡名	種 別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
穴太飼込 古墳群	—	弥生時代中期		—	弥生土器	—		
	古墳	古墳時代後期		横穴式石室	須恵器・土師器 (ミニチュア炊飯具)・鉄器	下記参照		
	—	中世		—	土師皿	横穴式石室の再利用		
	—	近世・近代		—	陶磁器	—		
要 約	<p>今回の調査では新規に4基(19～22号墳)の古墳と、昭和43年度に石室の一部が調査された13号墳の残余部分を調査した。これらは全て横穴式石室を埋葬主体とする。墳丘はおおむね直径10m程度の円墳である。13号墳の石室床面直上から出土した土器群は有蓋高杯を主体とする須恵器群にミニチュア炊飯具のセットが伴ったもので、志賀古墳群における渡来的様相を示す良好な資料である。出土須恵器等の検討から、20号墳が6世紀前葉に丘陵の高位地点に築造された後、19・21・13号墳が6世紀末から7世紀前葉頃にかけて順次築造されたと考えられた。</p>							

各古墳の概要

古墳名	墳形	規模	内部主体	主な遺物	築造時期	特記事項
13号墳	円?	12m	両袖式横穴式石室	須恵器・土師器・鉄器	古墳時代後期後半	調査時古墳名: SX05
19号墳	円?	11～12m	横穴式石室	須恵器・土師器・鉄器	古墳時代後期後半	調査時古墳名: SX01
20号墳	円?	11～12m	右片袖式横穴式石室	鉄器	古墳時代後期前半	調査時古墳名: SX02
21号墳	円?	10m	右片袖式横穴式石室	須恵器・土師器・鉄器	古墳時代後期後半	調査時古墳名: SX03
22号墳	不明	不明	横穴式石室	—	古墳時代後期	調査時古墳名: SX04